神戸労災病院広報誌

やまびこ

独立行政法人　労働者健康安全機構
神戸労災病院
良質で心のこもった医療を働く人と地域のために
URL https://www.kobeh.johas.go.jp

No. 26
2024.02

手術を受けられる患者さんに対する麻酔科の役割について

麻酔科副部長　河野　泰大

麻酔科と聞いて、どんな診療を行っているのかピンとこない方も多いかと思います。今回は、神戸労災病院麻酔科で手術の際にどのような診療を行っているか、手術前、手術中、手術後と時系列に沿ってご紹介します。

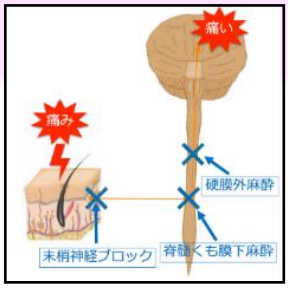
手術前

手術が決定したら麻酔科外来で術前診察を行います。術前診察では、患者さん個々人の状態（持病、アレルギー、嗜好品など）と手術の内容（手術する部位や体にかかる負担など）を把握して、予想されるリスクと個人ごとに調整した麻酔法の説明を行います。

また、手術前に介入が必要な病気が見つかった場合は、他の診療科と連携し、できるだけ万全の状態で手術を受けていただけるようにしています。

手術中

「手術が長くなったら途中で目が覚めませんか？」「麻酔が覚めない事はありますか？」といった質問をよくいただきます。神戸労災病院では手術中、担当の麻酔科医がつきっきりで手術の進行を確認しながら麻酔薬の調整を行っています。現在の麻酔薬は調節が自由にできるので、途中で目が覚める、麻酔から覚めないといった事はありません。手術が終わった際に、痛みが少ない状態で起きていただけるように様々な手段（鎮痛薬の全身投与、*末梢神経ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔など）を組み合わせて、手術中から管理を心がけています。



*末梢神経ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔（右図）

痛みの信号が脳に伝わる通り道を、薬を使って一時的に遮断します。痛みの信号が脳に伝わらなければ痛みを感じません。

手術後

術後の痛みは、手術を受けられる患者さんにとって大きな不安の一つと言われています。また、術後の強い痛みは、交感神経を強く刺激して、合併症（肺炎、心筋梗塞、不整脈、腸閉塞など）の原因となったり、痛みが長引く原因になると言われています。痛みを取るために様々な神経ブロックや*PCAという痛いときに自分で痛み止めの薬を使う方法などで痛みを取るようにしています。

*PCA（自己調整鎮痛法）（右図）

痛み止めを自分のタイミングで投与する方法です。痛みの感じ方は個人差が大きく『ちょうど良い量』までボタンを押す事で痛み止めを投与できます。自分で痛み止めを調節できるという安心感があります。

術前、術後の患者さんの不安が少しでも軽減されるよう日々努めています。手術を受ける際、何か気になることがありましたら、麻酔科診察の際に遠慮なくお尋ねください。

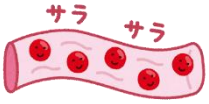
手術前に休薬が必要なお薬について

薬剤部　主任薬剤師　先崎　健造

手術を受ける前には、休薬（服用を一時的に中止すること）が必要なお薬があることをご存じですか？必要に応じて医師よりお薬の中止を指示されることがあります。指示に従って正しく休薬しましょう。正しく休薬ができていない場合、手術が延期になることもあるので注意しましょう。

休薬が必要なお薬とはどのようなものでしょうか？

１.出血のリスクがあるお薬（血をサラサラにするお薬）



主なものに、抗血小板薬や抗凝固薬があります。心筋梗塞や狭心症、脳梗塞、不整脈などの治療や予防のために使用されるお薬で、手術中に血が止まりにくくなり処置などに影響が出ることがあります。

２.血栓のリスクがあるお薬（血が固まりやすくなるお薬）

主なものに、婦人科疾患の治療や経口避妊薬として使用される女性ホルモン製剤があります。また、骨粗鬆症治療薬の一部に女性ホルモンに似た作用のお薬があります。これらのお薬は、手術によって血栓ができやすくなることがあります。

今回ご紹介したお薬以外にも、休薬が必要なお薬があります。一方で、お薬を中止することで治療中の他の病気が悪化することもあります。現在使用しているお薬（飲み薬、貼り薬、塗り薬、注射薬など）を正しく医師へ伝えましょう。そして自己判断で中止せず、必ず医師の指示を守りましょう。健康食品やサプリメントにも、手術に影響を及ぼすものがありますので忘れずに医師へ伝えましょう。

お薬手帳を活用しましょう

使用しているお薬の情報を正しく伝えるために、お薬手帳を上手に活用しましょう。手術を受ける病院以外から処方されたお薬の情報も重要であるため、お薬手帳は、一冊にまとめ、医療機関を受診する際は毎回持参するようにしましょう。

薬剤師へ相談しましょう

休薬するお薬がわからない時は、かかりつけ薬局の薬剤師に相談しましょう。

当院では、安心・安全に手術を受けていただくために、麻酔科医師の診察前に、薬剤師が面談を行う取り組みも始めています。

神戸労災病院広報誌
No.26
（令和6年2月1日発行）
ＴＥＬ　078-231-5901

（発行者）
独立行政法人　労働者健康安全機構
神戸労災病院　院長　脇田　昇
〒651-0053
神戸市中央区籠池通4丁目1-23
ＵＲＬ　https://www.kobeh.johas.go.jp

外来診療のご案内

受付時間：午前８時１５分　から　午前１１時３０分
※　初診時には、紹介状の持参をお願いいたします。
（持参のない場合は、選定療養費として別途7,700円かかります。）